




# すずしろ 22 2023 5 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

## 援農状況

### 4 月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数 (人)	参加延べ人数 (人)	農家数 (軒)	累計援農時間 (h)	累計参加延べ人数 (人)
2023 年 4 月	1,894	66	525	23	6,900	1,924
2022 年 4 月	1,754	53	488	21	6,102	1,658
増減	+140	+13	+37	+2	+798	+266

4 月の援農は、1,894 時間となり、前年比で 140 時間の増となりました。年間累計では、6,900 時間で、800 時間の増となっております。3 月に続き、いそがしさが続いております。いつもの草取り作業の他、菜花の収穫・袋詰め、カブ、大根の袋詰め、人参、きゅうりの定植、脇芽摘み、生姜、長芋の植え付け等、多種・多様な援農作業が行なわれました。

《安全援農にむけて》『春の全国交通安全運動』は 5/20 で終了しましたが、引き続き援農の行き帰り、交通安全にも注意していきましょう。「思いやり・ゆずりあい」の気持ちを忘れずに、交通安全を最優先でお願いします。『熱中症にも注意』ある会員の方から、援農作業の終わった夜に脈拍数が上がり、お医者さんから「軽い熱中症ではないか」と指摘があったとお聞きしました。体調不良などの自覚症状がなくても、体は敏感に暑さを感じ警告を発しているようです。まだ 5 月ですが、25 度を超える夏日も多くなってきております。こまめな水分補給を習慣づけて行きましょう。（援農サポータ北尾）

## 理事会報告

5 月度理事会 (5/18(木) 17:30~20:30 台町市民センターにて。6 名)

- ① イベントの計画 (9/30 開催の NPO フェスティバルに出店することを決定)
- ② 農福連携：子ども食堂への野菜の提供 (収穫と運搬) を会の活動にできないか等を検討。
- ③ 新富所農園：作業小屋修理と獣害対策 (電気柵設置) を計画。
- ④ 竹の子掘り報告：4 日間実施。246 kg 収穫。  
参加者 71 名 (会員 7 名、会員外 43 名、子供 21 名)、
- ⑤ 新入会員の見学・体験援農ならびに初回援農時対応の考え方を整理。



## 事務局より

- ① 6 月報に『会員の声』を特集します。会の活動について感じたことや援農への思い、ご意見をお寄せください。
- ② メールアドレスを変更された場合は、事務局にお知らせください。  
宛先：飛田恵美子 (emiko\_tobita@ybb.ne.jp、070-4449-2641)



## 野草あれこれ

ヒルザキツキミソウ (昼咲き月見草) アカバナ科 マツヨイグサ属

北アメリカ原産の多年草。大正時代 (1910 年代) に園芸植物として導入されたが、繁殖力が旺盛なので、野生化している。丈夫で乾燥や病害虫にも強い。ピンク色の花はかわいらしく美しい。雄しべが長いため、足の長いチョウにも、花粉を付けさせることができる。ツキミソウの方は、嘉永年間 (1850 年頃) マツヨイグサなどと同時に渡来したが、弱いため、ほとんど見られなくなった。マツヨイグサが夕方から夜にかけて咲くのに対し、昼間に咲くことから、名付けられた。マツヨイグサ属はすべてアメリカ大陸からの帰化植物。ヒルザキツキミソウは、マツヨイグサの仲間には珍しく、食べられない。



## イベントのお知らせ

- ① 「ホテル観賞会」(会員の交流を兼ねた親睦イベント。会員外の方もどうぞ)  
6/16(金) 17:30~20:30 高尾梅の郷まちの広場管理棟にて(雨天決行)  
会費: 大人 500 円、こども(小・中学生) 400 円、幼児無料  
申込: 6/12(月)迄 飛田恵美子(070-4449-2641、emiko\_tobita@ybb.ne.jp)
- ② 「夏の地場野菜を使った料理会」 6/25(日) 11:00~14:00  
大横保健福祉センターにて 参加費: 1500 円 定員: 先着 16 名  
申込: 6/20(火)迄 佐藤瑞恵(ショートメール: 090-4912-2117、  
Email: mizue06230415@yahoo.co.jp)
- ③ 「ジャガイモ掘り」 7/1(土) 10 時~12 時 雨天 7/8(土)  
集合: 石川農園(八王子市高月町 641) に 10 時。 定員: 先着 8 組  
じゃがいも代: 250 円/kg。  
参加費: すずしろ 22 会員無料、会員外の小学生以上 100 円、幼児無料  
申込: 6/25(日)迄 糠信栄里(ショートメール: 090-2218-8892、  
Email: nijiro.happy.happy.everyday@gmail.com)



## 農家さんの紹介

### 果樹栽培と加工品作り

下恩方町 ガーデン野崎 野崎恵美子

すずしろ 22 入会のきっかけは、いつもお世話になっていたご近所の植木屋さんが、交通事故でお仕事を辞めてしまわれたからです。畑の梅の木の剪定を毎年お願いしていました。梅の木は硬くて私では腱鞘炎になってしまいそうです。また、ずっとお任せだったので剪定方法がよくわかりませんでした。すずしろ 22 には、去年の梅の木の剪定からお世話になっています。以来ブルーベリー畑に侵入してくる篠竹の除去、栗の木の強剪定、友人から預かり要らなくなった庭木の伐採、キウイフルーツの棚の修理増設等、私にはできないことを次々やって頂いております。本当にわずかな報酬でいつも感謝しております。

畑では、主に果樹を植えています。ブルーベリー、栗、梅、山椒、無花果など。茗荷やたら芽(木)などの山菜も少しずつ多種類栽培しています。ブルーベリー栽培を始めたきっかけは、20 年ほど前、桐の木を伐採した土地が草ぼうぼうだった時に、恩方地区のブルーベリー栽培のお誘いがあり、女性でも栽培出来ると誘って頂いたからです。その後組合の活動の中で、6 次産業への参入ということで、普及所のご指導をいただきジャムの加工を始めました。

前後して滝山に道の駅が開設されました。当初から出荷組合に恩方ブルーベリー組合の一員として加入させて頂き、今も理事として関わっております。

私の経営方針などというものは特にありません。宅地で畑をやっているの、固定資産税を払うために頑張っているのが現状です。『お客様に美味しいと言っていただくと嬉しくて頑張っています』と声を大にして言えるといいのですが。

つい先日、73 才の誕生日を前に変形性膝関節症になってしまい、思うように動けない日が続きました。夫の認知症も進行しています。年齢とともに自分ではできないことがもっと増えると思います。今後とも末永くご支援をお願い致します。すずしろ 22 の発展を心よりお祈り申し上げます。



タラノキ



ブルーベリーのコンテナ栽培



チップ作り